

平成29年度「留辺薬まちづくり協議会」(第3回)会議録要旨

◎ 日時	開催日時 平成29年7月13日(木) 18:00~19:22
◎ 場所	留辺薬町公民館 1階 小ホール
◎ 出席者	協議会: 10名(横田会長、稲村副会長、荒委員、石田委員、大江委員、菊池委員、坂口委員、高野委員、古川委員、山梨委員)
	北見市: 五十嵐留辺薬自治区長 安井留辺薬教育事務所長 福浦留辺薬総合支所 保健福祉課長
	事務局: 飯塚留辺薬総合支所長 奥原留辺薬総合支所 総務課長 今野留辺薬総合支所 総務課地域振興係長 村田留辺薬総合支所 総務課地域振興係
	傍聴者: 無し

開 会

事務局
(総務課長)

開 会 (18:00)

皆様お晩でございます。

定刻の時間となりましたので、ただいまから、第3回留辺薬まちづくり協議会を開催いたします。

開催にあたりまして、横田会長から、ご挨拶をいただきます。

横田会長

お晩でございます。今日の最高気温が34度で、明日が36度という報道がされていきました。因みに去年の7月の気温を調べてみますと、30度を超えた日が30日、31日の2日のみで、あとは大体22~23度ぐらいがほとんどだったようです。暑い日がこれから続いていきますので、熱中症にはくれぐれも気をつけていただければと思います。

本日は、皆様のご協力をいただきながら、スムーズな進行に努めますので、よろしく願いいたします。

事務局
(総務課長)

それでは、これからの進行につきましては、横田会長をお願いいたします。

横田会長 それでは、五十嵐自治区長から挨拶をいただきます。

五十嵐自治区長 あらためましてお晩でございます。7月7日の水族館の5周年記念事業につきまして、最初のオープニングセレモニーに参加させていただきました。関係者が多かった印象でしたが、無事終了することが出来ました。

7日とその後、何も出し物がなかったため、お客さんが少なかったのかなと思いますが、次回に向けての反省も含め、もっと賑わいをつくるようなことを考えていきたいと思います。

お蔭様で、8日、9日の日は、昨年よりも入館者が多かったようですが、まだまだ少ない状況ですので、水族館規模ですとか、あるいは内容の問題ですとか、いろいろ研究をしながら入館者増に努めてまいりたいと思います。是非皆さん方もPRをよろしく願いしたいと思います。

本日は、まちづくりパワー支援補助金の追加募集の結果、1団体から応募がありましたので、審査をしていただきたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

報 告

「 会議の成立について 」

横田会長 それでは、会議に先立ちまして、委員の皆様にも事務局から会議の成立について報告をしていただきます。

事務局
(地域振興係長) ご報告いたします。本日の出席委員数は、15名中10名であります。北見市自治区設置条例第7条第3項の規定に基づき、半数以上の出席がありますので、本日の会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。

なお、武田委員、立垣委員、千田委員、山久委員、野瀬委員におかれましては、所用により欠席される旨、ご連絡をいただいておりますので、合わせてご報告申し上げます。

横田会長 それでは、本日の会議については、概ね午後7時ぐらいを目途に、終了したいと思いますので、よろしく願いいたします。

審 査

「 (1) まちづくりパワー支援補助金公開審査(追加募集分) 」

横田会長 それでは、次第の『2. 審査』に入ります。

(1) まちづくりパワー支援補助金の公開審査を行うこととなります。

はじめに、審査の流れについて説明を受けたあと、審査に入っていきたいと思いますが、前回欠席された委員もいらっしゃいますので、あらためて事務局から説明をいただきたいと思います。

事務局
(地域振興係長)

まず、本年度のまちづくりパワー支援補助金につきましては、当初、2団体から応募がありまして、ご審査いただいた結果、2団体の合計で、106万4千円を採択いただいたところです。

予算額が150万円ですので、予算残が43万6千円ということで追加募集を行いました。

その結果、1団体から応募があり、42万3千円の要望があったところでございます。

それでは、資料1ページをご覧ください。まず、まちづくりパワー支援補助金の審査の流れですが、先ほど会長からお話があったとおり、前回欠席された委員の方もいらっしゃいますので、あらためてご説明させていただきます。

応募いただいた書類につきましては、事前に事務局において確認をさせていただいておりますので、この後の審査は全て公開により取り行うこととなります。

応募書類につきましては、資料3ページの「留辺薬まちづくりパワー支援補助金取扱要領」の「6 応募書類の確認」に基づき、審査対象となります1団体の応募書類を事務局で確認しております。

1ページにお戻り願います。まず、団体の方に5分程度の時間でプレゼンテーションを行っていただきます。

5分経過しましたら、事務局からベルでお知らせいたします。

団体からのプレゼンテーションが終了した時点で、質問の時間を設定しております。質疑が終了した後、委員の皆さまに本日お配りしております審査評価シートに点数を記入していただき、こちらの方でシートを回収させていただきます。

ここで一旦休憩を取りまして、事務局において集計作業を行い、平均点数と交付決定額の算出を行います。

集計作業が終わりましたら、応募団体の審査結果の点数とランクを発表し審査を終了いたします。

審査方法ですけれども、5ページの「様式第1号 審査評価シート」、こちらをご覧くださいと思います。

こちらのシートの下の方に評価点数基準がありますので、それぞれの事業の6つの評価項目ごとに1点から5点の点数をつけていただきます。

全部の評価項目が、5点であれば合計で30点というふうになります。こちらで回収させていただいたシートを、7ページの「審査点数の集計及び平均点数」、このシートに各審査員の点数をこちら事務局の方で転記をさせていただいて、平均点数を計算いたします。

平均点数の算出は、最高点、それと最低点各一人分の評価点数を除いて平均点数を算出いたします。平均点数が算出されましたら、6ページにあります「補助係数表」、こちらに基づいてランクと補助係数が決まります。

審査の結果、平均点数が26点以上であれば、要望額に対して10分の10の補助になりますが、21点以上26点未満であれば10分の9、15点以上21点未満であれば10分の8ということになります。

なお、平均点数が15点未満の事業につきましては、不採択ということになります。

すので、その際、補助金は交付されないということになります。

次に4ページをご覧ください。こちら4ページに「9 評価の方法」とありますが、この評価方法の(5)に規定しているとおり、採択候補事業のこちらの補助係数が決定しましたら、団体からの要望額に補助係数を乗じて算出した額が補助金額ということになります。

なお、審査の結果、補助金額が要望額よりも下回った場合には、その団体に対して、審査後の補助金額で事業が実施できるかどうか、その確認が必要となりますので、のちほど、団体の方へ通知をさせていただきます。

本日は審査結果の点数とランクと補助係数のみを公表いたしますので、最終的に決定した補助金額につきましては、後日公表させていただく予定です。

質疑・意見

横田会長

ただいま事務局の方から説明がありました。今の審査の説明について何かご質問等ありますか。

～ 質疑なし ～

横田会長

それでは、これよりプレゼンテーションを行いたいと思います。
団体の方よろしくお願いします。

【 おんねゆ森のコンサート 】

おんねゆ森のコンサート実行委員会

皆さんこんばんは。今回、実行委員長を務めます古田亜由美と申します。
どうぞよろしくお願いいたします。

この度、おんねゆ森のコンサート実行委員会を立ち上げ、ホラネロさんによる野外コンサートを企画しました。開催日は9月24日(日)、開催場所は「おんねゆ温泉花えーる」横の根々の丘公園を予定しております。

まず、この企画の経緯をご説明いたします。

旧留辺薬町時代の今から23年前、1994年平成6年9月24日(土)に巨樹の森にて、村松 健氏によるピアノコンサートが開催されました。

「洞爺丸台風40周年よみがえった森林事業」の一環として、野尻拓己さんを実行委員長に多くの方々の協力のもと実施されました。

私も第1回からすべての巨樹の森コンサートに関わっておりまして、当時も総務部会に所属し、訳も分からず駆け回っていた記憶があります。

平成18年9月のコンサートまで、ほぼ2年に1度、計7回のコンサートが開催されましたが、北見市との合併や実行委員の高齢化など、いくつかの要因により巨樹の森コンサートは終了しています。

過去には、感銘を受けていただいたNHKのデレクターの方がいらっしやいまして、その方が「これは素晴らしい事業である」ということで、NHKのBS番組に

取り上げていただいて、2度ほど放送されたという経緯もございます。

今回再び巨樹の森コンサートで開催出来ればいいねと、意を同じくする有志が集まり、当時メンバーだった若杉さんや鴻上さんなどにも加わっていただき、今回実行委員会を設立する運びとなりました。

今年は、時間や資金の制約があるため、「花えーる根々の丘公園」を背景とすることで森の雰囲気を楽しめるコンサートにしたいと考えております。

集客は100名から120名を予定しております。また、地元の温根湯中学校3年生の生徒さんを無料で招待したいと考えております。

ホラネロさんは、遠軽を拠点に道内外で幅広く活躍するご夫婦のユニットです。オホーツク観光大使などもされておりまして、谷藤万喜子さんはフルート、旦那さんの本田優一郎さんはギターのプロの夫婦ユニットであります。

楽曲には、北海道の自然、動植物、白花豆など、農作物をテーマとしたものが多数あります。

コンサートの途中で、おやつタイムなどを設けて、白花豆のスイーツなどを味わっていただくことも企画しているところであります。

私達実行委員の目的は、音楽演奏を自然豊かな環境の中で行うことで、木のまち留辺薬町をアピールするとともに、北海道の自然をテーマとした楽曲を演奏することで、大地の恵みに感謝するということを実感していただくことです。

また、組織の名称に「おんねゆ」を入れたのは、オホーツク地域の皆様に親しまれてきた温泉地である「おんねゆ」をアピールし、活気がもたらされることを期待したからです。

今、当時の第1回目のコンサートのアルバムをお返ししますので、参考に見ただければと思います。

この事業の協力団体としましては、おんねゆ温泉観光協会様、温根湯温泉旅館組合様、留辺薬商工会議所様、るべし白花豆くらぶ様に関わっていただくこととなりました。

ホラネロさんは、本当にオホーツクにもっとも相応しいご夫婦のユニットのプロの演奏家さんです。昨年、この留辺薬地域の白花豆の竹を切って、白花笛というものをつくっていただいて、その生産者さんの思いを曲にした「Heart Beans」という曲もつくっていただきました。

それでCDも一般発売をされております。
どうぞ皆様よろしく願いいたします。

質疑・意見

横田会長

ただいま、おんねゆ森のコンサート実行委員会の「おんねゆ森のコンサート」について説明がありました。このことについて、皆さんの方からご意見、ご質問等があればお願いします。

稲村副会長

雨天の場合はどうしますか。

おんねゆ森のコンサート実行委員会 多少の雨天の場合はやりたいと思っておりますが、どうしても出来ない場合は、花えーるの中で行う予定です。

おんねゆ森のコンサート実行委員会 多目的研修室に100名ぐらいは入れるので、そこは予約しております。

坂口委員 椅子を並べるんですか。

おんねゆ森のコンサート実行委員会 巨樹の森コンサートで、キャンプで使うような小さな腰かけが400くらいあるということをお鴻上一樹さんからお伺いしております、それをそのまま使うか、あるいは、ピクニックシートみたいなものでもいいのかなという話はしております。皆様にお配りした写真は、2015年9月7日のものですが、この当時は白花豆でしたが、今年は麦なんですよ。丁度、森を背景に。もう少し紅葉が進むのかなと思っております。

横田会長 とにかく人を集めることですね。宣伝を上手くやってください。

坂口委員 音楽をじっくり聞かせるなら、ピアノなら留辺薬の図書館で何回かやりましたよね。木造の図書館で音響がいいということで評判になったんだけど。音楽を聴かせるだけだったら、そういう会場もあると思いますが、今回は根々の丘を宣伝することにもなるので良いと思います。心配なのは天気ですね。

稲村副会長 自己資金が10万円とのことですが、チケットの代金で、100枚売れないことはないと思いますが、万が一売れない場合はどのようにお考えですか。

おんねゆ森のコンサート実行委員会 ホラネロさんの実績ですが、留辺薬商工会議所などの会館で、単独コンサートをやられた時に、大体80名か100名の集客が必ずあるので、100名というのは私達にとっては頑張れば無理のない数字ではないかと思っております。

稲村副会長 逆に、集まり過ぎた場合、例えば、200人になった場合、お金が余る計算になりますが、その場合はいかがですか。

おんねゆ森のコンサート実行委員会 使用許可範囲を広げまして、売れるものなら200枚売りたいんです。チケットは200枚印刷しようと思っております。

坂口委員 ホラネロさんは、留辺薬にも夏祭りとかに来てやっているから、結構知り合いが留辺薬には多いですよ。だから、100枚はすぐに完売する想定ですね。

おんねゆ森のコンサート実行委員会 谷藤万喜子さんは、幼少期に過ごした留辺蘂の街に特別な思いを寄せているということも個人的にお聞きしているので。

坂口委員 だから、夏祭りや何かに飛び入りで、留辺蘂吹奏楽とやってくれたり、留辺蘂には思いが強いはずなんです。

おんねゆ森のコンサート実行委員会 東京で活躍をされていたんですが、震災を機に戻って来て、津別のクリンソウまつりに6年連続でやられていて、根強いファンもいらっしゃいます。

古川委員 丁度、根々の丘のPRにもなるんじゃないですか。花壇整備をされていて、今、丁度花が咲いていてきれいですから。秋にはどうなんでしょうね。

おんねゆ森のコンサート実行委員会 秋はコスモスが一面に咲きます。

横田会長 それでは実行委員の皆さん、大変お忙しいところ、お出でいただきましてありがとうございました。日頃から地域の活動、または活性化などにいろいろとご尽力いただいたことに対して、衷心からお礼を申し上げたいと思います。

採 点

横田会長 それでは、これより審査評価シートによる採点を行いますので、委員の皆さんについては、審査をお願いしたいと思います。

先ほど説明がありましたように、項目ごとの最高点が5点で、6項目合わせた最高点が30点、中間点の15点以上が採択候補事業となります。

採点が終わり次第、事務局が回収をして集計を行いますので、採点が終わりましたら、事務局の方に合図をしていただきたいと思います。集計の間、5分間程度休憩をいたしますので、採点が終わった方は順次休憩をしてください。

また、まちづくり協議会委員の方が団体の構成員として参加している事業につきましては、その事業の審査には参加出来ないことになっておりますので、よろしくをお願いします。

それでは、「審査評価シート」に採点を記載してください。

..... 休 憩（事務局集計作業）

結果発表

横田会長 それでは、休憩を解いて会議を続けます。

それでは、審査結果について事務局より発表していただきます。

事務局
(地域振興係長) それでは、まちづくりパワー支援補助金の審査結果を発表させていただきます。
 ナンバー1「おんねゆ森のコンサート」につきましては、平均点数27.25点
 で、ランクが1、補助係数が10分の10ということになりました。

横田会長 審査の結果につきましては、ただいま事務局の方から発表がありましたが、事業
 の実施について団体の意向を確認させていただきまして、後日、補助金の交付決定
 額を発表させていただきます。
 それでは、これを持ちまして、コンサートの成功を祈って、審査を終了させてい
 ただきたいと思えます。
 団体の皆様、大変お疲れ様でした。

その他

横田会長 続きまして、報告案件として「はあとふるプラザ条例の一部改正について」の説
 明をお願いをしたいと思います。

福浦保健福祉課長 「北見市はあとふるプラザ条例の一部改正について 説明」

質疑・意見

横田会長 それでは、「はあとふるプラザ条例の一部改正について」、皆さんの方からご質問
 等があればお願いいたします。

坂口委員 これはすでに改正したんですよね。夜10時まで開いていたのが夜9時と1時間
 早めて。また、日曜日も休むという特別何か理由があるんですか。

保健福祉課長 北見の社会福祉総合会館に合わせるような形で、今回改正させていただきました。
 た。

坂口委員 サービスの悪い所に合わせては駄目だと思いますが。

五十嵐自治区長 管理の問題があって、社会福祉協議会が指定管理に入っていて、日曜日はどうし
 ても管理者がいないということもあって、休みにさせていただいたというのも1つ
 理由にあるんです。

坂口委員 今までは、社会福祉協議会が指定管理になっているけど、日曜日は使えたわけ
 でしょう。10時まで。だけど、開館時間を短くしたり、休みにしたりするのは引
 かかるんですよね。

五十嵐自治区長 午後10時というのは、今まで使われていた中では、午後10時まで使われてい

るという団体は少ないというのがありますね。そこは9時までにするということですね。

坂口委員 せっかくボランティア団体とか、老人、障がい者が無料で使える会館になるのなら、すべて合わせるのではなく、その人達が使いやすいようなものにするべきではないかと思いますが。

保健福祉課長 心配だったので、実績の方は調べさせていただきました。昨年の実績で年間15件、405人程度。その団体については、他の曜日の振り替えとか、他の施設の利用ということで、それは可能ということは確認させていただいております。

横田会長 いずれにしても、使いながら実績を見て、今後検討していくことでどうですか。

坂口委員 どうしても借りて使うので、日にちを振り替えてと言われたら、振り替えると言うしかないと思うんですね。

横田会長 それは、ここに書いてあるように、変更等を考えていかないとならないと思います。

事務局
（総合支所長） 改正後は、日曜日も祝日も閉館日となっておりますが、指定管理者の方で、もし使うよという利用者からの要望があれば、開館することは可能になっております。

坂口委員 それはどこで読み取ればいいんですか。

五十嵐自治区長 第4条です。ただし書きがあります。

横田会長 だから、おおいに使ってもらおうということですね。

坂口委員 おおいに使ってもらった方がいいんです。

五十嵐自治区長 1つだけ、休館日のウの部分なんですけど、年末年始の3ページの第4条の上なんですけど、12月31日から翌年の1月5日までということになっていますが、実は市役所自体が、今、道や国に合わせるということで、全体的に見直し行っております。

横田会長 道は28日までではないですか。

五十嵐自治区長 29日から翌年の3日までということで、今、来年4月1日で施行。来年度の暮れからそういう形になる予定になっておりまして、それに合わせて、ここも一部改

正になる予定になっております。

ですから、31日から5日となっておりますけど、29日から3日までに変わります。

稲村副会長 はあとふるプラザの利用率がとても低かったんですが、我々だけでも3か月で500人以上利用しているんです。やはり建物は使わないと。

古川委員 階段がきついんですよ。

横田会長 エレベータをどんどん使ってください。

稲村副会長 これは、指定管理者の問題なので、ここで言ってもしょうがないんですが、実は、ボランティア室の半分を社協の荷物が占めています。使う方としては非常に使い勝手が悪いです。

横田会長 社協に物置がないんですよ。市の建物を借りて入れてもらっているんですけども、今、社協の方で物置を造くらないとどうしようもないので、あの近辺で空いている所を捜して、もし、借りれるのなら、そこを借りようかなと思っているんです。建てるとなると、100万、200万円かかるので、できれば空き家の所でやるということを考えようかと。3年以内にそれをやりますということで進めています。

稲村副会長 せっかく使えるようになるんだから、使えるようにしてもらわないと。

五十嵐自治区長 因みに、はあとふるプラザには、交通安全協会と、防犯協会、シルバー人材センターが入っているんですが、そこはそのままです。行政財産の貸付けということで、使用料はちゃんといただいておりますし、そのまま居ていただくということです。

坂口委員 話は逸れますが、先日、HBC の取材を受けた時に、置戸の町会議員がみえて、道新を読んで見やすい手作りの時刻表がもらえると聞いたからと、もらいに来ていたんです。置戸町議会も札幌の会議を今まではバスで行っていたんだけど、今回JRのことがあるからと、JRに乗って行ったんです。

丁度その時に、HBC のテレビが来ていたんだけど、北見もそれぐらい行動を起こしてもらわないと困る。

菊池委員 起こしているよね。職員の出張は全部 JR ですよ。

横田会長 ほかになければ、今、総合計画で第1回目の会議が行われたんです。これから会議が5回ぐらいに渡って行われる予定ですが、会議の一番最後に、皆さん方で交換会を行う予定なので、議題の中にもありましたが、取りあえず、私の方で皆さん方からご意見等をいただいて、それを参考にしましょうということで、そこに書いてあるとおり、出席委員全員が一言課題について話をしましょうということになりました。私の方でメモした部分ですので、一応参考資料として見ておいていただければと思います。

高野委員 ここに、横田会長のコメントで、行政を当てにしない自主的活動とあるが、どういふふうに理解すればよろしいですか。

横田会長 自分達で出来ることは自分達でやります、という意識がないと、例えば、見守りにしても、認知症の関係にしても、我々はずっと長い間やってきたんだけど、どちらかというと、行政が頼みにくることが結構多いんです。自治会も含めて。
だから、行政にあまりシフトを置くんじゃなくて、自分達が出来ることをまずやって、自分達が出来ないことは、行政にお願いしようということだったつもりです。

菊池委員 要は、今までは殆んどが行政にお願いしてきたんだけど、今、自分達が出来るのは、ここまで出来るが、残りの少しを行政にお願いできませんかという具合に、物事を変えていかなかったら、これから留辺蘗は発展性がないんだと。私は以前から思っていたんです。

横田会長 それは菊池さんの言うとおり。そのまま言ってきました。

菊池委員 だから、本当にそうした方がいいですよ。老人クラブを含め、何でも市長さんをお願いをしてやってくれるものだと思ってるんです。皆がね。
そうではなくて、会で何か催す場合は、年会費を取って、足りない分を行政にお願いするとか、そういう具合に持っていかなかったら、行政だってたまらないでしょう。こんな小さな町で、お金ばかり出ていくんだから。

坂口委員 実際に出来ない態勢になりつつあるんです。人も減って。

菊池委員 そういう具合に持っていかなかったら、何もかもが全部駄目になってしまう。

五十嵐自治区長 どちらかというソフト事業ですよ。ハード系は行政でやるしかない。ソフト事業で何かこういうものをやりたいと言った時に、それだけ市の方で100%の支援はできない。

菊池委員 今まで100%でお願いしてきたから、それが習慣になってしまっている。

横田会長 これから、総合計画の策定に1年6か月ぐらいかかるんです。これからの10年のことですので、いろいろと皆さん方からご意見をいただきながら、参加していきたくと考えております。

総合計画には、留辺蘂自治区の特徴、これからの将来についてというページがあるんですけども、ここのところが、これからの留辺蘂をどういう町にしていきたいんだということを含めて考えた時に、協議を場所というのが限定されていますので、まち協の皆さん方は団体の代表で出ていたり、公募で出ていたりしているので、皆さん方からご意見をいただいて、私が計画の中に参画をするという態勢づくりでないと、個人的な意見だけで、物事というのは納まらないと思っております。

そういう意味では、見通しを立てながらやっていくということでない、独断と偏見では出来ませんので、そういう意味ではご協力をお願いしたいなというふうに思っております。

横田会長 事務局の方で何かありますか。

事務局 来週20日(木)の東川町の視察研修についてですが、参加者の方については、お手数ですが、当日、印鑑をお持ちいただきたいと思っております。

(地域振興係長)

これは、1人あたり1,200円の旅費をお支払いしますが、北見市に対して請求行為が必要となります。請求書はこちらで作成しますが、ご本人の請求印が必要となりますので、よろしくお願ひいたします。

横田会長 今、事務局の方から説明がありましたけれど、次回のまちづくり協議会につきましては、すでにご案内しておりますけれども、20日(木)に開催させていただきます。

内容については、東川町の視察研修ということで、学校教育関係の研修を行う予定です。

バスの中において、第4回のまちづくり協議会を予定しておりますので、異質な扱いなんです、バスの中で諮問を受けるということにさせていただきたいと思っております。

来年、市議員選挙がありまして、諮問も答申も例年より1か月前倒しとなっているため、8月、9月に集中的に議論をするという日程になろうかと思っておりますので、忙しい日程になりますが、是非ご協力をお願いいたします。

稲村副会長 私からは2つ。福祉関係なんだけど。会長から私信が出ていて、はがきが届いたでしょう。7月30日、午後1時から午後3時まで希楽苑で地域懇談会。介護福祉計画の基になる地域懇談会が予定されていて、定員が25人で集まっていないみたいで、まち協の皆さんに是非ご参加いただいて、まだ定員に余裕がありますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

もう1つは、昨日の伝書鳩に介護予防サポーターの講習会と名称がなっているんだけど、あの見出しの中身にこんな小さいのが私は疑問に思ったんだけど、普通3回連続でやるんですよね。連続3回やって定員20名。

1つの問題は、介護予防サポートという制度って聞いたことがないんだけど、あの中身でいくと、サポーターを育てるといことなのか、あれに出た人は、サポーターにするということなのか、市の何をやろうとしているか分からない。

それから、3回やることになっていることのうち1回は「ふまねっと」をやることになっているんです。はっきり書いてあるんです。どの日にやるかは分からないんだけど、21日から8月の間だの3回のうちのどれかだと思うんですが、「ふまねっと」をやっている方としては、サポーターということになると、「ふまねっと」の中央でやっているサポーター資格やインストラクターの講習会を受けなかったら、サポーターになれないと思いますが。

福浦保健福祉課長 見ていないので、確かめてから回答します。

稲村副会長 小さい記事で、昨日の伝書鳩で2枚目の真ん中ぐらいで小さく出ています。何をやろうとしているかよく分からない。介護予防のためのサポーターを育てようという意味は分かるんですけど、そういう制度というのはないはずなんで、市としてやるということなのか、これが確認の1つ目。

それから、このサポーター程度の資格は取れませんから、指導は出来ません。これは間違いないので、そこのところをはっきりしてもらいたいということです。

私は自費で全部講習を受けて、試験を受けて資格をとっているんで、市でそれをやるということは有り得ないと思いますが。

荒委員 今、稲村さんが言った30日に希楽苑の件は、私は温根湯と中央と東相内の3か所出ているんですが、皆話題が違うんですよ。その地域によって。そういうことで、3つ目で市の考えはこうなんだと、やっとある程度分かったということなので、いろいろな場に出ていると、北光では認知症の関係が話題になったりとか、いろいろその場所によって話題になることが違うんです。

そうすると、介護の問題というのは、制度の弱点も分かるし、課題も見えるし、そういうことで、介護保険制度の問題も分かるので、また、福祉の予算も分かるし、地域の現状、北見自治区と留辺蘂自治区の課題が本当に違うというのが痛感します。北見と温根湯、留辺蘂の。ケアマネージャーさんの話があるものですから、すごく違いがありますから。是非希楽苑に沢山出て欲しいと強く言われておりますので、よろしくをお願いします。

横田会長 明日、留辺蘂高校の学校祭がありまして、地域と芸能交流会がありますので、留辺蘂公民館で12時10分から始まります。1時20分から芸能交流会もあるようですので、時間がありましたら、是非ご参加していただきたいということでお願いします。

閉 会

以上をもちまして、第3回留辺蘂まちづくり協議会をこれで終わらせていただきます。長時間にわたり大変ありがとうございました。ご苦労さまでした。

以上のとおり、まちづくり協議会（第3回）を終了した。

（ 19：22 終了 ）